

一般社団法人 石巻海さくら
umihamaそうじ
新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

2020.8/5版

【感染予防の基本】

- スタッフを含む全参加者は、基本的にマスクを着用して活動する。ただし、持病や熱中症の危険がある場合などはその限りではない。
- 活動中は、人が密となる高リスクな環境を極力避け、人との距離を最低1m(できるだけ2m)保つ。
- 活動中はアルコールなどでこまめに手指の消毒をおこない、活動後は、水と石鹸を使って丁寧な手洗いをおこなう。
- 開催にあたって、事前に参加者への予防対策に関するアナウンスをおこない、当日も注意喚起を徹底する。
- 原則として、参加者は宮城県内の方限定とし、人数制限をおこなう。
- 宮城県から石巻圏内(石巻市・東松島市・女川町)におけるクラスター(感染者集団)発生の発表があった場合、発生日から2週間以内は活動をおこなわない。

【活動にあたって】

- ・共有器材を極力なくして感染リスクを減らすため、軍手や飲み物などは参加者が持参する。
- ・当日朝に検温をする。
- ・以下に該当する方は、活動への参加を自粛してもらおう。
 - * 活動当日朝に37.5℃以上の発熱がある方
 - * 体調が優れないときや風邪気味(せき、頭痛、倦怠感(体のだるさ)、息苦しさ)の方
 - * 嗅覚や味覚異常などの症状がある方
 - * 新型コロナウイルス感染症陽性とされてから15日未満の方、または15日以内に感染症陽性の方との濃厚接触がある方
 - * 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
 - * 過去14日以内に、政府から入国制限または入国後の観察期間を必要とされている国や地域へ渡航した方、または当該在住者との濃厚接触があった方
- ・万が一、感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、参加者情報(①氏名、②連絡先、③住所)を把握する。
- ・状況に応じて、活動前後の立ち寄りが必要最小限に抑える。
- ・参加者同士の感染は、当団体では責任を負わない。
- ・出来る限りの予防対策を取るが、感染リスクをなくすことはできない。参加者は、感染に対するリスクを十分に理解した上で、自己責任を持って参加する。
- ・活動実施前2週間以内に、石巻圏内におけるクラスター発生が宮城県から発表された場合、活動開催を中止とし参加者へ連絡する。

【当日受付】

- ・アルコールなどによる手指の消毒をおこなう。
- ・非接触型体温計で検温をおこない、37.5℃以上の発熱がある方は参加を辞退してもらう。

【活動中】

- ・持病や熱中症の危険がある場合などを除いて、基本的にマスクを着用する。
- ・はじめの会や終わりの会、休憩時などの人が集まる場面では、人との適切な距離を保ち、対面での会話を避ける。
- ・くしゃみや咳をする際は、口と鼻をタオルや手ぬぐい、肘などで覆い、飛沫が拡散しないようにする。

【活動後】

- ・水と石鹸を使った手洗いを入念におこなう。
- ・スタッフで共有器材を入念に水で洗浄し、必要であれば消毒をおこなう。
 - 1) ウイルス不活性化効果のある処置：接触時間1分を目安に、かんたんマイペット・トレマジックリンなどで拭き取り洗浄。
 - 2) アルコール消毒：アルコール濃度70%以上の消毒液で清拭
 - 3) 次亜塩素酸ナトリウム液消毒：濃度0.05%の次亜塩素酸ナトリウム液(水1ℓに対してハイター25ml)での清拭※ 金属類は腐食するので注意
- ・新型コロナウイルスの残存期間を考慮する。(2020年6月2日改訂版「[新型コロナウイルス感染症に対する感染管理](#)」国立感染症研究所)
 - 1) プラスティックやステンレスでの表面：72時間
 - 2) ダンボールの表面：24時間
 - 3) 銅の表面：4時間
 - 4) 空気中(エアロゾル)：3時間
- ・15日以内に発熱・せき・頭痛・倦怠感(体のだるさ)、嗅覚や味覚異常などのコロナウイルス感染の疑いが出た場合、自宅待機および保健所への相談をおこない、スタッフに連絡してもらう。スタッフから参加者へ連絡する。

【参考資料】

- ・北里大学大村智記念研究所 ウイルス感染制御学研究室
医薬部外品および雑貨の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)不活化効果について ▶ [2020.4/17 プレスリリース](#)
- ・東北医科薬科大学病院
新型コロナウイルス感染症 ～市民向け感染予防ハンドブック第2.2版
▶ [2020.4/24 発刊](#)

- ※ 本ガイドラインは、新型コロナウイルスがインフルエンザなど、他の感染症と同じ扱いになるまで適用する。
- ※ 行政や研究機関から発信される最新の情報などを定期的に確認し、予防対策を柔軟に改変する。